

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 26日は、低気圧が日本の南を東に進み、黄海付近の高気圧が日本海に張り出す。
- 27日は、低気圧は日本の東へ進み、前線が東シナ海から西日本南岸付近にのびる。
- 28日は、本州南岸の前線は不明瞭となり、低気圧が北海道付近を通過する。
- 29日から30日は、高気圧が日本の東へ移動し、前線が東シナ海にのびる。

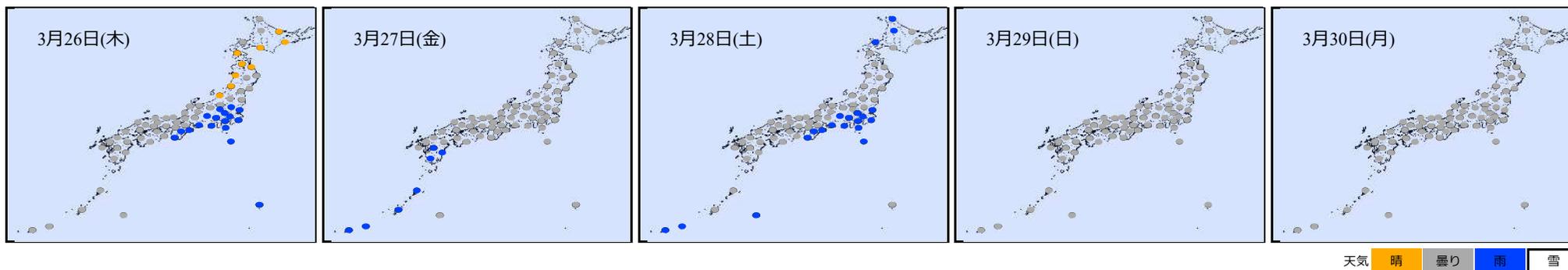
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

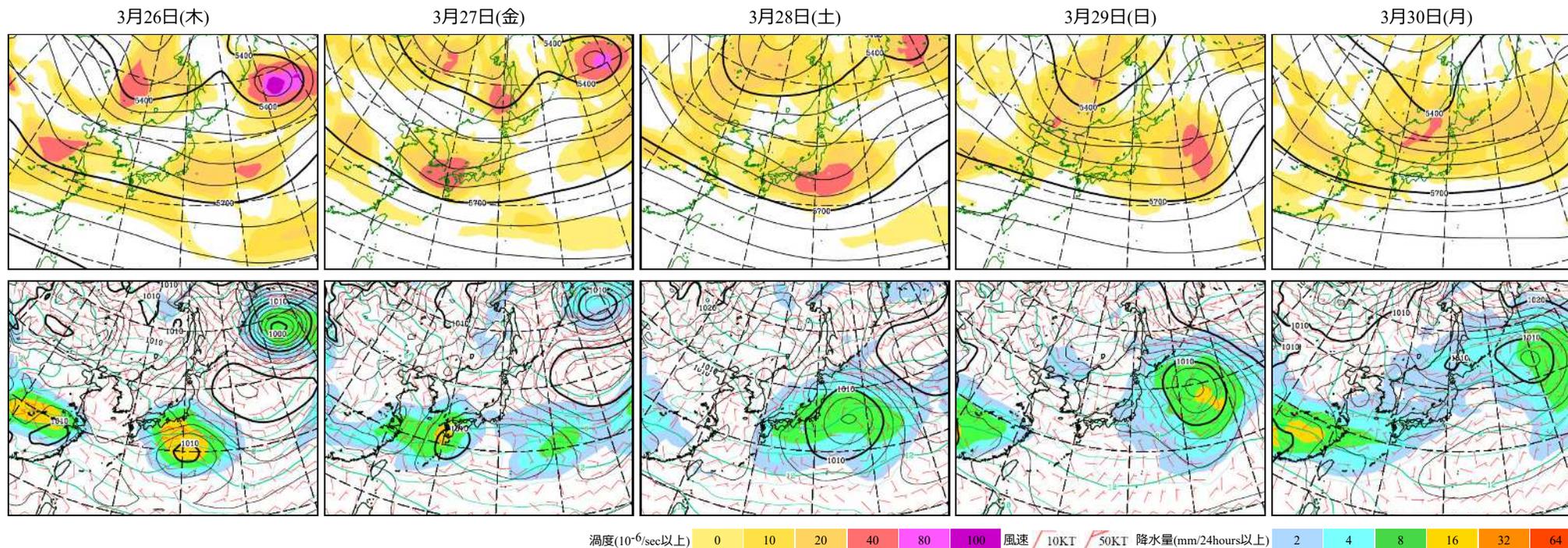
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

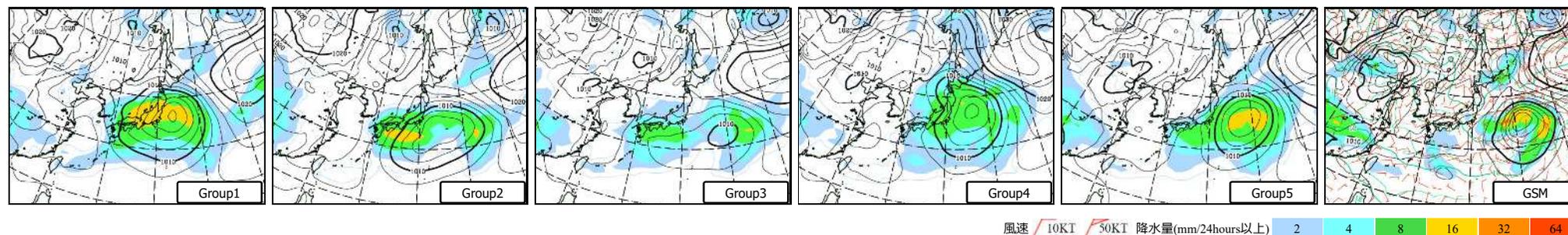


- 北日本は、曇りまたは晴れの日が多いが、28日は雨または雪の降る所がある。
- 東日本と西日本は、雲が広がりやすく、26日から28日にかけて雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、27日と28日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月28日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、27日から28日にかけて日本付近を通過するトラフの進みが早くなった。
- 各モデルともに28日以降はトラフ、リッジの初期値変わりが大きく、モデル間の差も大きくなっている。
- 28日は、各モデルともに低気圧を日本の東に予想し、発達しているモデルもある。ENSは、発達した低気圧が関東沿岸、日本海、西日本等に予想するメンバーを含んでいる、ENS平均図は各モデルの予想との差が大きくなっている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、28日に本州付近に広く予想される降水域は、各モデルの予想を参考に、大幅に縮小する。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。